

大阪府八尾市

企業ブランディングとPRによる差別化 事業と地域の活性化を同時に実現

コンペイトウを始めとする砂糖菓子製造会社。2003年から、見て・聞いて・作れる“体験型ミュージアム”を八尾市の本社工場内、堺、福岡県で運営している。コンペイトウメーカーは国内に数社程度のみで、そのなかでも手作り体験や工場見学まで実施しているのは同社のみである。製造工程を知ってもらうことで、商品の安全・安心・熱意をアピールし、新商品を開発することでコンペイトウの魅力を現場から発信し続けている。

●所在地	大阪府八尾市若林町2丁目88番地	●設立	1952年
●電話/FAX	072-948-1338/072-948-1015	●資本金	4,500万円
●URL	http://www.konpeitou.jp	●従業員数	40人
●代表者	代表取締役社長 野村 しおり		



担い手確保

サービス

徹底した企業ブランディングと多種多様なPRの駆使による差別化

人口減少等による菓子の需要減少に対応するため、モノ作りだけではなく、製造工程や歴史文化を伝え、製品の価値を高めるミュージアム事業を実施し、徹底した「コンペイトウ王国」の企業ブランディングを社長自ら実施。SNSや多数のメディアへの露出の他、ゆるキャラや漫画、オリジナルソング、本、TikTok等、多種多様なPR方法を駆使して、通常の体験教室との差別化を図る。また、コンペイトウ作り等の体験教室を有料とすることで、ミュージアム事業の売上は全体の1割を超えるまでに成長した。



「コンペイトウ王国」の体験教室

コンペイトウの新たな需要獲得と地域活性化への貢献

コンペイトウの新商品に加え、新たな需要獲得のため、パウダースーガーを利用したシュガラブ石鹸、リップクリーム、アクセサリーの販売等、コンペイトウに馴染みのない若い女性へのPRにも注力する等、新たな視点で事業展開を行う。現在はブランディング効果で、国内外からの取材・商談や観光、他企業からのタイアップ商品依頼も舞い込んでいる。また、地域企業の魅力発信施設の理事としてワークショップを連携して開催する等、地域活性化にも貢献し、第11回産業観光まちづくり大賞経済産業大臣賞を受賞した。



地元の近畿大学と開発した商品

社内環境改善と次世代人材の採用による技術継承と社内活性化

オープンファクトリーの導入や、社長自らによる人事配置の転換や風通しの良い雰囲気作りが従業員のモチベーション向上や離職率の低下に繋がった。あわせて、ミュージアムの収容人数の上限を大幅に下げること、働き方改革ときめ細かなサービスの提供を実現した。また、漫画やSNSを用いた情報発信が若手人材の採用に繋がり、外国人の正社員やインターンシップ生の積極的な受入が、外国人目線の業務改善やインバウンド対応力の向上に繋がり、次世代への技術継承等の人材育成や社内活性化が進んでいる。



活き活きと働く、多様な社員達